

先輩が使い方を指南 盛岡 渋民中



1年生にプラス日報の使い方を教える2年生(右)

盛岡市の渋民中(小松山浩樹校長、生徒149人)は4月、2年生が1年生にプラス日報の使い方を教えた。「調べる」「クミハン」といったメニューの操作方法をマンツーマンで指導。昨年度防災学習や復興学習などで利用してきた2年生は、自分たちの取り組みを振り返りながら先生役を務め、後輩に使い方を伝授した。

1年生1人に対して2年生1、2人が担当。タブレット端末を操作しながら「ここに検索



プラス日報の使い方について、岩手日報社社員の説明に耳を傾ける渋民中の生徒

したいキーワードを打ち込んで」「クミハンはこちらだよ」などと助言した。

活動に先立ち、生徒は岩手日報社員によるプラス日報の基本的な使用方法の説明を聴講。操作手順の概要を把握した上で、2年生が1年生に指導した。

江田隆雅さん(2年)は「1年生と交流しながら使い方を教えることができた。これからもプラス日報を使って情報収集力や表現する力を高めたい」と語り、一兎倉央さん(1年)は「体験したことや学習した内容をクミハンでまとめていきたい。読みやすい新聞に仕上げたい」と意気込んだ。

同校は2024年度からプラス日報を利用。岩手山噴火を想定した避難訓練の事前学習で記事を検索したり、宮古市での復興学習をまとめた個人新聞を「クミハン」で作成するなど、さまざまな学習活動に役立ててきた。

1年担任の山下摂子教諭は「マンツーマンで指導することで、1年生一人一人に丁寧に対応できていたので良かった。これからも学習活動に活用していきたい」と見据えた。

渋民中のプラス日報活用事例

学習活動	利用したメニュー	活用事例
朝読書	「新聞を読む」	興味のある記事を読んで、要約や記事に対する自分の考えをまとめた。
防災学習	「調べる」	岩手山噴火を想定した避難訓練の事前学習で活用。火山灰対策の記事を調べ、必要な備えを学んだ。
復興学習 総合的な学習の時間	「調べる」 「クミハン」	津波被災地訪問、宿泊研修、修学旅行などの事前学習やまとめに活用した。
教科学習	「新聞ワークシート」	単元の導入や振り返りで活用した。

利用できる機能は?

- ① デジタル版紙面の閲覧
- ② 過去約20年分の記事検索
- ③ 新聞記事を題材にしたワークシート
- ④ 新聞製作ソフトなど。そのほか震災復興やふるさと学習、進路学習をサポートするコンテンツを提供しています。

どう使われている?

朝学習で新聞を読んだり、行事を振り返る個人新聞作りなど多様に活用されています。2025年度当初時点で、県内の公立小中学校の約40%の学校が利用しています。

ご依頼はこちら!

「+日報」についてより詳しく知りたい方は、岩手日報社プラス日報事務局の専用フォームからお問い合わせください。

